

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ）		
ナンバリングコード	E41204	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 総合レベル ゼミナール
単位数	4	配当学年 / 開講期	4 年 / 通年
必修・選択区分	必修		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002701	クラス名	徂徠ゼミ
担当教員名	徂徠 三十六		
履修上の注意、 履修条件	ゼミナール募集の手続きに沿って志望すること。 大学での学修の集大成として、認知科学・人間工学に関する研究をすすめ、内容が濃く、完成度の高い論文を仕上げるよう、努力して下さい。またその内容をうまくプレゼンテーションするよう、心がけて下さい。		
教科書	ゼミのなかで指示します		
参考文献及び指定図書	ゼミのなかで指示します		
関連科目	情報リテラシー1、情報リテラシー2、統計学		

○基本情報		
授業の目的	情報処理の場面における人間と情報機器(コンピュータなど)とのインターフェースを考えます。その際の人間の感覚・知覚特性、さらに進めて認知特性がどのようなものであるかを解明したり、その応用を考えるのが当ゼミの最終目的です。(ただし心理学的過程の解明までは及びません) そうしてその集大成として認知科学・人間工学分野の「卒業論文」を作成します。 また、その研究結果を発表会にて発表します。	
	内容が濃く、完成度の高い、認知科学・人間工学分野の「卒業論文」を作成する。 研究結果を、1.ゼミの発表会、2.コース発表会、3.大学全体の発表会(選ばれた場合)にて発表する。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	3年間の「ゼミナール」全体をつうじて、自主的積極的に問題解決に取り組む姿勢を育みます。		25点	
【知識・理解】	3年間の「ゼミナール」全体をつうじて、最終的に「卒業研究」をまとめ上げるために必要な各種知識を身につけていきます。		25点	
【技能・表現・コミュニケーション】	3年間の「ゼミナール」全体をつうじて、卒業研究内容をわかりやすく説明する技術を習得していきます。		25点	
【思考・判断・創造】	3年間の「ゼミナール」全体をつうじて、数理的・論理的思考力を身につけ、それによる問題解決能力を備えらるよう成長していきます。		25点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
認知科学・人間工学分野の「卒業論文」作成およびその発表論文の評価は各回の発表会(中間報告含む)のなかで講評していきます。				

○その他
メールにて返答できることは、メールにて回答します。
卒業論文として満たすべき水準 (1)研究の意義 研究テーマが学術的に意義を有すると認められること。 (2)研究の位置づけ 研究テーマの設定および研究の展開において、既往の先行研究について十分調査が行われていること。また、適切な文献引用を行い、研究の位置づけが明確にされていること。 (3)研究方法の適切さ 研究テーマに応じて、理論の展開、実験、数値シミュレーション、試作、調査、資料収集など、適切な研究方法が用いられていること。 (4)研究の展開の妥当性 研究で得られた結果の解釈、展開、結論に至る過程が明確であり、論理的に破綻していないこと。 (5)結論の妥当性と意義 研究の位置づけ、目的に対応する妥当な結論が得られていること。 (6)論文の体裁 論文の文章表現、体裁が適切であること。「学士」の学位論文として不適切な表現や表記がないこと。文献の引用が適切になされていること。 (7)発表能力 研究発表を与えられた時間で明確に行うことができること。質問を正しく理解し的確に回答できること。 (8)関連学問分野の基礎知識 研究を行うために必要な、関連する学問分野に関する知識を有していること。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅣ（SeminarⅣ） 徂徠 三十六	授業コード	E002701
学修内容				
1. ガイダンス、研究テーマの紹介1 所属するゼミでこれから卒業研究として取り組んでいく内容について話し合います。				
予習	不要			
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布			約4時間
2. ガイダンス、研究テーマの紹介2 ひきつづき、所属するゼミでこれから卒業研究として取り組んでいく内容について話し合います。				
予習	不要			
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布			約4時間
3. 研究テーマの選定1 各自の具体的な取り組みについて考え、選定します。				
予習	不要			
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布			約4時間
4. 研究テーマの選定2 ひきつづき、各自の具体的な取り組みについて考え、選定します。				
予習	不要			
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布			約4時間
5. 先行研究の調査1 研究方法の決定 研究対象をどのような方法で調査分析していくのかを立案します。				
予習	不要			
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布			約4時間
6. 先行研究の調査2 研究方法の決定 ひきつづき、研究対象をどのような方法で調査分析していくのかを立案します。				
予習	不要			
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布			約4時間
7. 研究対象の選定1 研究テーマに沿って、具体的にどの範囲の何について研究するのかを決めます。				
予習	不要			
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布			約4時間
8. 研究対象の選定2 ひきつづき、研究テーマに沿って、具体的にどの範囲の何について研究するのかを決めます。				
予習	不要			
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布			約4時間

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ） 徂徠 三十六	授業コード E002701
学修内容			
9. 研究方法の決定1			
研究方法の決定 研究対象をどのような方法で調査分析していくのかを立案します。			
予習	不要		
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布		約4時間
10. 研究方法の決定2			
研究方法の決定 ひきつづき、研究対象をどのような方法で調査分析していくのかを立案します。			
予習	不要		
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布		約4時間
11. 予備調査1			
本調査の前に、事前の予備調査をします。			
予習	不要		
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布		約4時間
12. 予備調査2			
ひきつづき、本調査の前に、事前の予備調査をします。			
予習	不要		
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布		約4時間
13. プレ調査結果の分析1			
調査結果をとりまとめ、分析します。			
予習	不要		
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布		約4時間
14. プレ調査結果の分析2			
ひきつづき、調査結果をとりまとめ、分析します。			
予習	不要		
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布		約4時間
15. 本調査の準備1			
予備調査を発展させた本調査のための準備をします。			
予習	不要		
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、解答は配布		約4時間
16.			
予習	不要		
復習	配付資料＝復習用演習課題4時間、解答は配布		約4時間

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ） 徂徠 三十六	授業コード	E002701
学修内容				
17. 本調査の準備2 ひきつづき、予備調査を発展させた本調査のための準備をします。				
予習 不要				
復習 配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布				
約4時間				
18. 本調査1 本調査を実施します。				
予習 不要				
復習 配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布				
約4時間				
19. 本調査2 ひきつづき、本調査を実施します。				
予習 不要				
復習 配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布				
約4時間				
20. 調査結果の分析1 調査結果を取りまとめ、分析します。				
予習 不要				
復習 配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布				
約4時間				
21. 調査結果の分析2 ひきつづき、調査結果を取りまとめ、分析します。				
予習 不要				
復習 配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布				
約4時間				
22. 調査結果の考察1 分析結果について考察します。				
予習 不要				
復習 配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布				
約4時間				
23. 調査結果の考察2 ひきつづき、分析結果について考察します。				
予習 不要				
復習 配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布				
約4時間				
24. 論文の執筆1 これまでの研究成果をまとめるため、本文を執筆します。				
予習 不要				
復習 配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布				
約4時間				

○授業計画	科 目 名 担当教員	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ） 徂徠 三十六	授業コード	E002701
学修内容				
25. 論文の執筆2 ひきつづき、これまでの研究成果をまとめるため、本文を執筆します。				
予習 不要				
復習 配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布				
約4時間				
26. 発表会の練習1 パワーポイント等を作成し、発表の練習をします				
予習 不要				
復習 配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布				
約4時間				
27. 発表会の練習2 ひきつづき、パワーポイント等を作成し、発表の練習をします				
予習 不要				
復習 配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布				
約4時間				
28. 発表会1 これまでの研究成果を発表します。				
予習 不要				
復習 配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布				
約4時間				
29. 発表会2 ひきつづき、これまでの研究成果を発表します。				
予習 不要				
復習 配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布				
約4時間				
30. 反省・将来の展望1 1年間の取り組みを総括し、今後の課題と問題点を明らかにし、後輩へ引き継ぎます。				
予習 不要				
復習 配付資料＝復習用演習課題4時間、次回に解答を解説または配布				
約4時間				
31. 反省・将来の展望2 ひきつづき、1年間の取り組みを総括し、今後の課題と問題点を明らかにし、後輩へ引き継ぎます。				
予習 不要				
復習 配付資料＝復習用演習課題4時間、解答は配布				
約4時間				
32.				
予習 不要				
復習				